「注文の多い料理店」の新聞をつくろう

「注文の多い料理店」に出てくる2人の紳士について、人柄や性格についてはがき新聞にまとめよう。

指導のねらい

2人の紳士について、叙述から性格や人柄のわかるところを読み取り書くことができる。

評価の例

- 紳士の人物像を行動や服装、会話など様々な場面から読み取って書いている。‥‥A
- 紳士の人物像について根拠をもとに書いている。‥‥B
- 根拠をあいまいにして人柄を書いている。‥‥C

時間配分（目安）

①導入（課題の説明とつくり方の説明）‥‥‥‥‥5分

- 根拠をもとに性格を読み取り書くことを伝えましょう。

②はがき新聞の制作 ‥‥‥‥30分

- 見出しは記事の中から考えさせるとよいでしょう。
- 早くできた児童には見出しをレタリングしたり、カットを書いたり、色を塗ったりさせましょう。

③振り返り・交流 ‥‥‥‥‥10分

レイアウトの例

学びを広げるポイント

- できあがったはがき新聞は、2〜3人で交流したり、ミテミテ（理想教育財団助成品）を使って掲示したりして子どもたち同士の交流を促すとよいでしょう。
- 「注文の多い料理店」は、その他に「色」「音」などでも書くことができます。

「注文の多い料理店」の新聞をつくろう

「注文の多い料理店」に出てくる２人の紳士について、
人柄についてはがき新聞にまとめよう。

はがき新聞のつくり方

1 右側の新聞をお手本にして、新聞の名前から書いてみよう。新聞の名前は２～３文字だと書きやすいです。

2 最初に鉛筆で題字を書いてから、周りを太くしてレタリングしてみよう。

3 レタリングができたら周りを水性ペンでなぞり、鉛筆の線を消しゴムで消してから題字と後ろの色をぬろう。

4 ２人の紳士はどんな人柄だったかを行動や会話・服装から読み取り、記事を書いてみよう。書き出しは１マスあけること。（書き出しの例：紳士は、ピカピカする鉄砲を持っていたり、イギリスの兵隊の形をしたりしていたので～だと思います。）

5 書き終わったら、記事を読みなおそう。

6 記事に合うイラストを描こう。発行者の下は、物語に合うようなイラストを書いてみよう。

7 イラストに色をぬろう。鉛筆で書いてかペンでなぞってから、色鉛筆で濃く丁寧に塗るときれいに仕上がります。

8 横見出しは、記事から光る言葉を選んで書くといいと思います。色の塗り方は題字と同じです。

9 横見出しは、記事の内容が一目でわかるものがいいですね。

準備するもの

鉛筆、消しゴム、色鉛筆、定規、水性ペン（見出しや記事、イラストをなぞるときに使います。）

レイアウトの例